

大阪城公園パークマネジメント事業
平成 30 年度 事業報告書

大阪城パークマネジメント共同事業体

(代表者)

大阪府中央区大阪城 1 番 1 号
大阪城パークマネジメント株式会社
代表取締役 木下 健治

【担当者】



目 次

1 . 平成 30 年度の事業報告についての概要	P 2
2 . 成果指標にかかる数値結果等	P 3
3 . 平成 30 年度 収支実績報告書	P 4
4 . 大阪城天守閣 平成 30 年度の報告書	P 10
5 . 駐車場 平成 30 年度の報告書	P 21
6 . 大阪城音楽堂 平成 30 年度の報告書	P 22
7 . 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵 平成 30 年度の報告書	P 24
8 . 大阪城野球場 平成 30 年度の報告書	P 27
9 . JO - TERRACE OSAKA 平成 30 年度の報告書	P 29
10 . MIRAIZA OSAKA-JO 平成 30 年度の報告書	P 31
11 . 園内交通システム 平成 30 年度の報告書	P 34
12 . 施設・公園管理 平成 30 年度の報告書	P 35
13 . 緑地管理 平成 30 年度の報告書	P 39
14 . 魅力向上事業の報告書	P 45

1. 平成 30 年度の事業報告についての概要

平成 30 年度は森ノ宮噴水エリアにおいて 4 月から 5 月にかけて新たな便益施設としてベーカリーショップ（アールベイカー）、コーヒーストア（スターボックス）、児童遊戯施設（ポーネランドプレイヴィル）がオープンするとともに公園内の植物の見ごろを紹介するボタニカルショーケースやロードトレインの発着地点に公園案内所を整備しました。2 月には劇場型文化集客施設「クールジャパンパーク大阪」がオープンし、魅力向上事業における施設整備について当初予定していた施設はすべて整備が終了いたしました。

また、既存設備の改修工事として公園灯の LED 化については平成 29 年度の 533 台に引き続き、平成 30 年度は本丸エリアを中心として 152 台行い、省エネ化や灯具切れを防止するための安全性の向上に取り組みました。そのほか、森ノ宮から青屋門までの主要園路の歩道や西の丸庭園の舗装改修、森ノ宮エントランス（旧せせらぎ）の改修整備といった園路の安全性向上にも取り組みました。

イベントにおいては昨年度に引き続いて西の丸庭園での「観桜ナイト」、5 月に太陽の広場での「餃子フェス」、6 月に「大阪城トライアスロン」を開催し、秋の「クラフトピアホリデイ」と「ラーメンフェス」、12 月には今後 3 年にわたり開催予定の大阪城ナイトウォーク「サクヤルミナ」をスタートしました。また、11 月～3 月にかけては西の丸庭園において「大阪城イルミネーション」も昨年度に引き続いて開催しました。

成果指標における数値結果においては、天守閣の入場者数は自然災害の影響等もあり 255 万人となり昨年度を下回りました。しかしながら、新たな施設整備による収益増などで変動納付金は 31,182,407 円と成果指標の設定額を上回る結果となりました。また、満足度調査において、天守閣については空調機器の工事期間中と重なったため、館内が暑いというお声が多かったこともあり、81.1%と前年度を下回る数値となりました。また、大阪城公園全体については 84.0%でした。天守閣については特殊要因があるものの、どちらも目標の 85%を下回っており、ホスピタリティーの向上や多くの来園者からご要望を頂いているトイレの改善等に今後取り組んでいきたいと思っております。

これまでは魅力向上事業としての施設整備を中心として進めてまいりましたが、今後は整備した施設を活用して大阪城公園の魅力発信を行うとともにイベントなどの集客事業と連携したプロモーション施策を重点的に実施していく予定です。

2. 成果指標にかかる数値結果等

(1) 大阪城天守閣の入場者数

年間入場者数 **2,550,058 人** (計画数値: 262 万人)

(2) 大阪城公園本丸エリアへの来園者数(推計)

年間来園者数 **536 万人**(推計) (計画数値: 550 万人)

(天守閣の入場者数×2.1倍、平成28年度実施の動向調査による推計)

(3) 大阪城公園への来園者数(推計)

年間来場者数 **1,239 万人** (計画数値: 1,273 万人)

(天守閣の入場者数×4.86倍、同上)

(4) 大阪城野球場、大阪城西の丸庭園、豊松庵、大阪城音楽堂の利用者(件)数

大阪城野球場: 年間利用件数 **333 件** (計画数値: 900 件)

大阪城西の丸庭園: 年間有料入園者数 **239,951 名** (計画数値: 350,000 人)

豊松庵: 年間利用件数 **118 件** (計画数値: 120 件)

大阪城音楽堂: 年間利用件数 **98 件** (計画数値: 100 件)

(5) 大阪城公園利用者への満足度調査結果

平成30年10月26日(金)~28日(日)実施の動向調査による。(非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足)の5段階評価)

天守閣 満足度(非常に満足、まあまあ満足) **81.1%** (計画数値: 85%)

公園全体満足度(同上) **84.2%** (計画数値: 85%)

(6) 大阪市への納付金額

基本納付金 260,000,000 円

変動納付金 31,182,407 円 (計画 23,653,000 円)

個別 事業名	MIRAIZA OSAKA-JO(旧第四師団司令部庁舎)
-----------	------------------------------

個別 事業名	森ノ宮噴水エリア (噴水前3店舗、案内所)
-----------	--------------------------

項目	平成30年度
店舗運営委託事業	258,493,529
リニューアルミュージアム	63,156,013
殺陣道場	2,232,784
(1)売上高	323,882,326
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	323,882,326
販売促進費(広告宣伝・催事)	1,468,955
人件費	9,549,586
管理委託費等	67,303,815
水道光熱費	9,842,705
備品・消耗品費	2,893,578
修繕費	33,500
保守維持費	1,033,500
リニューアルミュージアム	121,166,532
殺陣道場	2,728,837
その他	4,456,774
<上記の小計>	220,477,782
改修費	982,000
減価償却費	63,692,806
共通費	24,466,060
(4)販売費及び一般管理費	309,618,648
(5)営業損益((3)-(4))	14,263,678
営業外収益 小計	0
災害損失	200,000
営業外費用 小計	200,000
(6)営業外損益 総計(-)	-200,000
(7)当年度損益((5)+(6))	14,063,678

項目	平成30年度
噴水前3店舗運営委託事業	29,193,034
(1)売上高	29,193,034
(2)売上原価	0
(3)売上原価益((1)-(2))	29,193,034
販売促進費(広告宣伝・催事)	1,012,200
管理委託費等	1,328,000
備品費	8,169,093
修繕費	48,500
保守維持費	27,500
通信費	445,860
その他	0
<上記の小計>	11,031,153
改修費	0
減価償却費	3,104,743
共通費	1,740,603
(4)販売費及び一般管理費	15,876,499
(5)営業損益((3)-(4))	13,316,535
雑収入(販売促進負担金)	800,000
営業外収益 小計	800,000
営業外費用 小計	0
(6)営業外損益 総計(-)	800,000
(7)当年度損益((5)+(6))	14,116,535

4. 大阪城天守閣 平成 30 年度の報告書

昭和 6 年に大阪市民の寄付によって復興された大阪城天守閣は、大阪はもとより日本の文化観光のシンボルという特徴を備えた歴史博物館である。

平成 30 年度は、前年度からの「幕末・維新 150 年」のキャッチコピーのもと、幕末からさらに明治も意識し、歴史に因んだ公・民諸団体とも連携して、立体的にイベント等を展開し、大阪城天守閣の魅力を内外にアピールするとともに来館者の満足度向上を図った。秋には特別展「幕末・維新の人とことば」を開催した。さらに季節ごとの様々なイベントなどを展開し、これらへの集客を促進するため、幅広い情報提供や広報宣伝にも力を入れた。

平成 30 年度開始当初は、アジア地域を中心とした訪日外国人観光客も引き続き増加していたが、大阪府北部の地震（平成 30 年 6 月 18 日発生）や、台風 21 号（平成 30 年 9 月 4 日発生）接近にともなう近畿圏の被害も影響し、前年度（平成 29 年度）に記録した入館者最高記録の 2,754,395 人を 204 千人下回る 2,550,058 人の入館者となった。

1. 資料の収集、保管事業

本年度は、大阪市において「豊臣秀次妻妾等画像」、「川中島合戦図屏風」、「うんすんカルタ貼交屏風」など 15 件を購入したほか、「真田三代記」など 2 件の寄附があった。また、「豊臣秀朱印状 11 月 5 日付 関白宛」の修理をおこなった。高い資料的価値と展示効果を有するこれらの資料を収集・管理する学芸員の業務に協力した。

2. 展示事業

企画展示

2 ヶ月を目途に文化財展示を全面的に更新し、そのつど 3 階・4 階のフロアごと、新しいテーマの展示を立案した。「幕末・維新 150 年」にあわせて、どちらかのフロアが関連展示となるよう工夫した。

本年度は、「復活の大阪城史」、「この顔を見よ！～造形、技巧、そして表情～」、「乱世を食う～“食”からひもとく戦国史～」、「名城は語る～それぞれのヒストリー～」、「淀殿～波瀾の生涯～」、「大坂城を描いた絵画」、「戦国『名人』劇場」の計 7 本の企画展示と夏の展示「大坂城前史～そして秀吉(アイツ)がやってきた～」を実施。企画展示「戦国『名人』劇場」では、“大坂幕府”構想について記した小堀遠州書状を初公開し反響を呼んだ。

特別展

「幕末・維新の人とことば」（平成 30 年 10 月 6 日～11 月 25 日）

「幕末・維新 150 周年」にちなんで、関連の展覧会を企画した。本展では「幕末・維新」という激動の時代に活躍した人物を取り上げ、残された書や手紙などを手がかりに、彼らの人間像に迫った。身の危険をかえりみず権力に立ち向かった志士たち、維新の立役者や

新政府の担い手、幕府方の人々、知識人や文化人など、時代の大きなうねりの中で懸命に生きた人々の姿やことばを紹介。

期間中(51日間)の入館者は393,499人(1日平均7,715人)の盛況であった。

テーマ展

「浮世絵師が描いた乱世」(平成30年3月17日～5月6日)

幕末から明治期にかけて、戦国武将たちや合戦を主題とした武者絵が浮世絵師によって多く描かれた。それらは多色刷りの木版画、すなわち錦絵のかたちで出版され、おおいに庶民の人気を博した。本展では大阪城天守閣の収蔵品のなかから、細密にして大胆、色鮮やかで躍動感あふれる武者絵の数々を紹介。期間中(前年15日間を含む51日間)の入館者は479,206人(1日平均約9,396人)となり、盛況であった。

「戦国の世の祈り」(平成31年3月21日～令和元年5月19日)

戦国時代、武将やその家族たちは、日々の営みの中で、あるいは人生の重要な局面で、祈りをささげ神仏の加護を受けようとした。都市では聖地へ巡礼する者や、彼らを聖地へ導く者が行き交った。政治や社会と神仏は、さまざまな関わりをもっていた。本展では大阪城天守閣の収蔵品の中から、神や仏の聖なる世界と、乱世に生きた人々とのつながりを示す多彩な文化財を紹介した。平成30年度中(11日間)の入館者は、108,415人(1日平均約9,855人)となり、盛況であった。

常設展示

2階展示パネルの更新

老朽化し、内容面でも古くなっていた2階「お城の情報コーナー」の展示パネルを全面的に更新。「大阪城の謎」、「大阪城の刻印」、「大阪城巨石一覧」、「石のふるさと」、「測る数える大阪城」など8枚のパネルを作成した。

「早わかり大阪城史」の更新

老朽化してきたジオラマ「早わかり大阪城史」(2階～7階)5台の全面的な更新事業を実施した。

3. 調査・研究事業

学芸員が実施する調査研究活動について側面的な協力を行った。

4. 教育・普及事業

収蔵品や関連資料の写真を作成管理し、公共機関や研究者、出版・放送関係機関等からの掲載や複製作成、商品化の要望に応じ積極的に提供することで、資料の普及に努めた。写真資

料の提供数は 526 件 1,360 点におよんだ。

また、天守閣所蔵の主要写真 440 点のデジタルデータ化を行った。

他の博物館施設等からの文化財貸出依頼に対する出品や、展覧会の企画や展示指導等に関する特別協力依頼に応じた。

展覧会図録、名品絵はがき等を作成し、頒布した。また、日本語版と英語版が好評を博している「大阪城 史跡探訪」のハングル語版と中国語版（簡体・繁体）を作成し、頒布を開始した。

館内に兜・陣羽織・小袖のレプリカ試着体験コーナーを設け、希望者（年間を通じて 3 万 2 千人）に体験の機会を提供した。

5. 学校や市民・各種団体等との連携に関する事業

学校や各種団体等との連携事業

- ・「第 47 回大阪城絵画展」(平成 31 年 1 月 2 日～ 1 月 31 日)
大阪の将来を担う幼稚園児・小学生・中学生が大阪城を大阪の誇りに思い、憩いの場としてより一層親しむと同時に、大阪の歴史・文化についての理解を深めることができるよう、大阪市内の市立幼稚園、小・中学校と連携し、大阪城の絵画を募集して入選作品を展示した。(応募作品数 995 点、うち入選作品数 38 点)
- ・地域・市民団体や企業、大阪城公園内および周辺イベント(大阪シティウオーク 2018、KANSAI ウオーク 2018、大阪城サマーフェスティバル 2018 他)と連携し、企画協力や相互広報・相互入場割引などを実施した。
- ・「太閤なにわの夢募金」への協力
自主事業イベント「戊辰戦争 150 年 大阪城ファミリーフェスティバル 2018」5 / 3 ～ 5 / 5、「幕末・維新 150 年ファイナル 西郷隆盛と西南戦争～大阪城の秋まつり 2018～」(11 / 3 ～ 11 / 4)において、PR ブースを提供した。また、実行委員会事務局運営における出納業務を行った。

地域との連携

- ・中央区民まつりに協賛・広告掲載するなどより多くの集客に努めた。
- ・大阪義士会「大阪義士会子ども四十七士」表敬訪問受入(平成 30 年 12 月 9 日)

他の博物館等との連携

- ・博物館学実習として 7 月 23 日から 27 日の 5 日間にわたって、6 校から 9 名の大学生を、また、中学生の職場体験は 4 校から 8 名の受入を行った。
- ・姉妹城・友好城郭連携事業
来年度のエッゲンベルグ城との友好城郭提携 10 周年記念事業、および姉妹城長浜城との共同特別展開催に向けた準備作業に取り組んだ。
- ・全国城郭管理者協議会への参加、および加盟城との協力連携
〔城のしおり(1,233 冊販売)〕

「熊本城災害復旧支援金」の募金活動や、熊本城内で販売されていた図録
「よみがえる熊本城」の販売協力を行った。(118冊販売。継続中)

また、会長城として当年度より事務局運営を行った。

- ・日本博物館協会・関西博物館連盟への参加、および加盟館との協力連携
- ・大阪歴史博物館との連携

〔天守閣・歴博セット入券(約38千枚販売)〕

- ・他の博物館、大学、学校、学会その他国内外の関係機関との協力連携
博物館協会キャンパスメンバーズへの参画(6校 計1,427名利用)等

他の企業との連携

- ・高島屋「大黄金展」販促企画への協力〔開催場所：高島屋大阪店7階〕

(先行販売：平成30年9月20日～、本会期：平成30年11月22日～11月26日)

大阪城天守閣の伏虎を純金で製作し純金レリーフ額として販売するにあたり、品物の形状確認や紹介文校正、学芸員によるトークイベント等で協力した。会場では天守閣の広報物を設置した。

- ・ホテルニューオータニ大阪「大阪城天守閣大棟の鯨瓦(雌)」の出張展示
(平成30年8月6日～平成30年9月7日)

広報の相互協力の一環として、金の鯨(レプリカ)をホテルニューオータニロビーで展示した。

6. 情報発信、広報宣伝

国外の観光客が増加する中、大阪を代表する文化・観光施設にふさわしい特別展、テーマ展及びイベント等を実施するとともに、ホームページ(訪問者数106万件/年・ページビュー数313万件/年)・ポスター・チラシ・リーフレット(日本語、韓国語、中国繁体字、中国簡体字、英語の各言語別及び子ども向け)・マスメディア等をとおして、幅広い効果的な情報発信・広報宣伝を行うことにより、集客力の向上に努めた。

取材受入れは64件、大阪市を通じての報道発表は13件、観光雑誌等の刊行物への天守閣情報の掲載(写真提供および記事校正)231件実施した。このほか、秋のイベント(秋まつり)について、京阪電鉄タイアップポスター作成と大阪観光案内所のデジタルサイネージの空き枠を活用し広報を行った。また、「幕末・維新150年」キャンペーン終了にともない、JR大阪城公園駅改札内の壁面広告枠(シール)を「幕末・維新150年」から「外交の舞台・大阪城」デザインのものに変更した。

7. 施設の維持管理

改札・案内・警備・清掃・昇降機の運転業務を業務委託により実施するとともに設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。

また、以下の改修や設備更新を実施した。

- ・大阪城天守閣空調、熱電源設備改修(H31年3月) ...大阪市

- ・ 天守閣受変電設備整備更新（H30年12月）...改修費
 - ・ 早わかり大阪城史 改修工事〔2・3・4・5・7階〕(H31年1月) ...改修費
 - ・ 空調加湿器更新（H30年2月 2台）...改修費
 - ・ 天守閣中央階段(上り)ノズリップ[®] 取替（H30年7月）...修繕費
 - ・ 天守閣収蔵庫用熱交換器、活性炭フィルター交換（H30年12月）...修繕費
 - ・ 天守閣ミニチュア展示ケース照明取替作業（H30年7月）...修繕費
 - ・ 天守閣 ITV・防犯設備カメラ等のUPS用バッテリー交換（H30年10月）...修繕費
 - ・ 天守閣屋内消火ホース取替費用（H30年9月24本）...修繕費
 - ・ 天守閣 2F学芸室空調機洗浄作業（H30年12月）...修繕費
 - ・ 小天守用マット更新（H30年6月 2枚）...備品費
- 〔台風21号被害修繕〕
- ・ 天守閣南西破風金属飾り修繕〔足場費含む〕(H30年9月) ...大阪市
 - ・ 天守閣 EV 通路ガラス割れ修繕作業（H31年1月）...災害損失
 - ・ 天守閣1階天井部分、軒天レベル調整補修費用（H30年9月）...災害損失

8. 大阪城天守閣 ミュージアムショップの運営

毎月売店会議を開催し、効率の良い運営及び経費削減に努めるとともに、大阪城だけのオリジナル商品(お菓子、ペーパークラフト、ストラップ等)を、納入業者と共に開発し販売を行うほか、ホームページを活用し季節ごとの売れ筋商品を紹介する等広報活動を充実させ収入確保に努めた。また、広報企画の商品で、入館者数三年連続過去最高記録記念切手「オリジナルフレーム切手(大阪城天守閣)」を平成30年4月から発売し、約9か月で448セットを販売した。その他、以下のイベント出店等を実施した。

(イベント出店)

大阪城ファミリーフェスティバル 平成30年5月3日～5月5日 (売上558千円)

大阪城ファミリーフェスティバル 平成30年11月3日～11月4日 (売上189千円)

9. その他

(1) 特別な取り組みや対応

「幕末・維新150年」キャンペーン

平成29年(2017)と平成30年(2018)は、慶応3年(1867)の大政奉還・王政復古の大号令、翌年の戊辰戦争勃発という、幕末から明治への転換期から150年の節目にあたることから、この両年を「幕末・維新150年」の記念イヤーと位置づけ、平成28年12月22日より2年に渡って「幕末・維新150年」キャンペーンを実施した。四季のイベントや展示などの定例行事を幕末・維新にちなんだ内容で行い、定例行事以外にも様々な新規事業を実施した。

平成 28 年 12 月発行の「幕末・維新 150 年大阪ゆかりの地マップ」を引き続き配布した。
「大阪城天守閣の米寿」を記念して登閣証明書を配布

平成 30 年 11 月 7 日（水）にお越しの先着 5,000 名の方に登閣証明書を配布した。

天皇陛下御在位三十年記念慶祝事業」に伴う大阪城天守閣無料公開の実施

（平成 31 年 2 月 24 日 入館者：8,239 名）

天皇陛下御在位三十年記念式典が挙行されることに伴う慶祝事業の一環として、文化庁から平成 31 年 1 月 31 日付の依頼を受けた大阪市と協議の結果、大阪城天守閣の無料公開を実施。館内の警備案内要員の増員、慶祝の掲示物や、スタッフの多言語案内など、混雑対策と安全確保、快適な施設の維持管理に配慮しながら実施した。

「熊本城災害復旧支援金」の募金活動を継続しており、当年度の集金実績は 237,681 円であった。（熊本市の当該口座への送金は、4/1～5/5 の集金 101,570 円を 5/11 に、5/6～11/30 の集金 120,324 円を 12/20 に実施、12/1～3/31 の集金 15,787 円は 5/10 に実施予定）平成 28 年 4 月 29 日より平成 31 年 3 月 31 日までの累計集金は 1,535,419 円となった。

文化財防火デーに伴う消防総合訓練を平成 31 年 1 月 29 日実施。

〔消防車や救急車など 9 台、ヘリコプター 1 機、消防隊員 43 名、自衛消防隊員約 30 名〕

また、この訓練に先立ち、中央消防職員による応急救護ならびに AED 講習を平成 30 年 1 月 17 日に実施。

台風（暴風警報）による臨時休館を実施

7/28 18 時閉館、7/29 10 時開館、8/23 15 時閉館、9/4・9/30 終日閉館

なお、9/4 の台風 21 号は関西を直撃し記録的な被害を残し激甚災害に指定された。

特に関西国際空港の機能マヒが続き 9/14 には 50%、9/21 には 90%機能回復したものの、この間の外国人来館者は激減し、9 月度の入館者数は前年比 48,857 人減少（25.3%）となった。

大阪府北部の地震（7：58 頃発生）による臨時休館を実施。（6/18 終日）

ドローンの取り締まり対処

1/21 天守閣屋根へのカメラの落し物（実際はドローン）の届出があり、観覧中の落下ではなく、天守閣北方面から無許可でドローン飛行空撮中の落下と判明したため、大阪府警察及び大阪市と連携をとり対処にあたった。本年度は他にも 3 件、本丸での無断ドローン飛行操作者に対し警察と連携し天守閣職員が取り締まりに協力した。

（2）来館者サービスの向上

身体障がい者や高齢者等社会的弱者など、さまざまな人々がより安全に利用できるよう、設備等の定期的な保守点検を実施し安全で快適な施設の維持管理に努めた。

改札・インフォメーションにおける外国語対応及び、館内にて無料で貸出している音声ガイドのガイド機を 10 年ぶりに軽量で操作性の高い機種へ買替・コンテンツの拡充（40 点×4 か国語）ならびにリーフレット内の地図情報（公園内新施設情報・Wi-Fi 情

報等)の更新、文化財展示解説など262点の外国語表記や館内放送の多言語化に取り組み、館内案内の充実を図った。

入館者の増加(混雑)対策及び観覧者マナーの改善策

館内の混雑や観覧マナーの乱れによる不快感への対策として、券売所や階段・エレベータへの誘導員、館内巡視員、2階試着体験コーナーの写真撮影スタッフの増員体制は継続し、快適で安全な観覧環境の確保に努めた。

職員を対象とした人権研修を、年2回実施した。

平成30年5月に『ソーシャル・メディアのリスクと正しいつきあい方 ~企業編~』を平成31年3月には『『普通』とは何だろうか? ~違いを理解し、受け入れる~』をテーマとしたDVD鑑賞を通し学んだ。

個人情報の開示・訂正・利用停止などの手続き専用ダイヤルの継続、および周知文書「お客さまの個人情報のお取り扱いについて」の館内4箇所への設置を継続。(改札・インフォメーション・1Fミュージアムショップ・2F東事務所)

夏季の避暑対策として改札から天守閣内への階段通路にドライ型ミストを設置

(平成30年6月30日~9月30日予定であったが9月4日台風21号により著しく破損し終了)

iPadを利用したリアルタイム映像通訳サービス「みえる翻訳」(英語・中国語・韓国語・タイ語・ロシア語・日本語の手話通訳対応)を平成30年9月より導入。

落とし物、迷子等のご案内の際の多言語対応として、タブレット端末を用いて多言語対応の定型文を使用した館内放送アプリを2018年4月より試験導入。

閣内エレベータと、トイレ環境改善のためエアーフレッシュナー(消臭剤)と、オムツ回収ボックスを、平成30年11月より導入。

(3) 利用者満足度の把握・利用促進策

満足度調査の実施

大阪城天守閣入館者を対象に団体客・個人客の発地や大阪城の認知度、情報源、満足度などの来場者調査を実施(平成30年10月26日~10月28日)

苦情への対応等

各担当で受けた苦情や要望等をメールや連絡会議等を通じ常に情報共有し、改善に役立った。

施設利用促進への反映

大阪のシンボルである大阪城天守閣に、国内外から利用促進・誘致宣伝策として、次の事業を行った。

- ・大阪城公園で開催されるイベントとの連携
- ・季節に応じた自主事業によるイベント開催
- ・大阪市高速電気軌道(株)(Osaka Metro)、西日本旅客鉄道(株)、大阪水上バス等交通機関との連携による入場割引、企画チケットの取扱い実施

- ・「大坂城の櫓」重要文化財内部特別公開において、天守閣・櫓とのセット入場券の販売
〔平成30年度の天守閣・櫓セット販売数は約32千枚販売〕
- ・旅行会社等との観光券やクーポンの取り扱い契約やオプションサービス企画への参画による集客促進
- ・大阪城天守閣開催事業のプレスリリースや大阪市・区ほか関係団体の情報発信媒体、観光雑誌等への情報提供、交通機関等と連携した広報・宣伝
- ・ホームページの随時更新によるイベント・展示等の情報発信
- ・諸団体実施の内外へのプロモーションへの参加や提携
- ・大阪周遊パス、西日本旅客鉄道(株)が企画する「JR-WEST RAIL PASS」、京阪電気鉄道(株)が企画する「KYOTO-OSAKA SIGHTSEEING PASS」への参画等によるインバウンド誘致
〔大阪周遊パスの入館者 671,251人(前年比 15%減)〕

(4) 自主事業

天守閣やその周辺に来られた方々が、大阪城や大阪の歴史・文化を身近に感じていただけるようなイベントを季節ごとに開催し、大阪城の魅力を高めるとともに集客に努めた。また、「幕末・維新 150 年」を周知するイベントも実施した。

季節ごとの集客イベント

- 「戊辰戦争 150 年 大阪城ファミリーフェスティバル 2018」
(平成 30 年 5 月 3 日～5 月 5 日) 参加者：約 3,600 人(3 日間合計)
火縄銃演武〔大阪城鉄砲隊〕福島県会津若松市指定無形文化財 小松彼岸獅子舞〔小松獅子保存会〕福島県会津若松市指定無形文化財 小松彼岸獅子舞〔小松獅子保存会〕国指定重要無形民俗文化財 伊勢大神楽〔伊勢大神楽講社 山本勘太夫社中〕和太鼓演奏〔新潟万代太鼓〕国指定重要無形民俗文化財備中神楽〔県神社庁神楽部所属 備中成羽社〕幕末・維新ゆかりの地魅力展(桑名・白石・由利本荘・フランス・大阪城天守閣ミュージアムショップ・JO-TERRACE オフィシャルショップ)
- 「豊国踊り」×「河内音頭～幕末龍馬伝～」
(平成 30 年 8 月 11 日(土・祝)参加者：約 700 人
豊国踊り実演(宝塚歌劇 OG・OSK 日本歌劇 OG、協力：大阪市日本民謡協会)、河内音頭〔葵秀春(音頭取り) 二代目国分家竹春、国分家辰春、鷹羽健次〕
- 「幕末・維新 150 年ファイナル 西郷隆盛と西南戦争～大阪城の秋まつり 2018～」
(平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)～11 月 4 日(日)) 参加者：約 2,200 人(2 日間合計)
立体講談「西南戦争～城山の決戦～」〔旭堂南陵、桜花昇ぼる、東西屋〕霧島市指定無形文化財 天孫降臨霧島九面太鼓〔天孫降臨霧島九面太鼓保存会〕示現流兵法〔公益財団法人示現流東郷財団〕和太鼓コンサート「明治維新 150 年 平成最後の TAIKO

維新」〔打打打団 天鼓〕、ゆかりの地の魅力展（鹿児島県、宮崎県、フランスブラス、大阪城天守閣ミュージアムショップ、JO-TERRACE オンラインショップ）

d. 「ちよろけんと大神楽～祝福芸で迎えるお正月～」

（平成 31 年 1 月 2 日～1 月 3 日）参加者：約 1,600 人（2 日間合計）

ちよろけん登場（東西屋）、大神楽曲芸の披露（豊来家一輝）大阪城天守閣特製「御札」の頒布

「幕末・維新 150 年」関連主催イベント

a. 「“大阪城から文明開化が見える”学芸員とめぐる明治維新と文明開化ツアー」

（平成 30 年 6 月 26 日）参加者：26 人

旧桜宮公会堂（重要文化財 旧造幣寮鑄造所正面玄関）でのランチ、造幣博物館にて造幣博物館学芸員による特別展の展示解説、大阪城天守閣学芸員の案内により明治時代に建てられた施設の跡地をめぐりながら大阪城天守閣前本丸広場までのまちあるき

b. 「幕末・維新 150 年の日本酒」開発プロジェクト

（募集：平成 30 年 4 月 26 日～7 月 31 日、商品発送：平成 30 年 10 月から順次）

達成金額 3504 千円 / 目標金額 3000 千円

大関株式会社・株式会社マクアケ・株式会社池田泉州銀行との協働事業として、クラウドファンディングを活用したオリジナルパッケージの日本酒販売

c. 「戊辰戦争ゆかりの地スタンプラリー」

（平成 30 年 9 月 1 日～令和元年 8 月 31 日）

京都・東京・新潟・福島・宮城・北海道にある戊辰戦争ゆかりの地に大阪城を加えた九つの地域を巡るスタンプラリー

スタンプ 9 個中 5 個押印でオリジナルハンカチをプレゼント

d. 京阪沿線幕末・維新魅力再発見！

（平成 30 年 5 月 19 日～平成 30 年 12 月 2 日）

京阪ホールディングス株式会社・京阪電鉄株式会社との協働事業として、「幕末・維新 150 年」をテーマにした歴史講座・まちあるき・ハイキングを行った。

シネマ歌舞伎『沓手鳥孤城落月 / 楊貴妃』パネル展

（平成 30 年 11 月 28 日～平成 31 年 1 月 24 日）

人間国宝・坂東玉三郎氏が淀の方を演じる「沓手鳥孤城落月」が松竹・シネマ歌舞伎として全国上演されるのに合わせて、企画展示とパネル展を実施

シネマ歌舞伎上演会場と天守閣内で広報物設置等の相互協力を行い、淀の方（淀殿）ゆかりの地としての大阪城を PR

観光 PR 出展

a. 会津まつり【福島県会津若松市・鶴ヶ城内】

（平成 30 年 9 月 23 日）

「戊辰戦争ゆかりの地」として出展、広報物配布による PR を実施

配布物：幕末・維新 150 年大阪ゆかりの地マップ、大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイドブック、一心寺リーフレット（大阪の会津藩土墓所）、うえまち（天守閣学芸員による「幕末・維新 150 年」関連コラム掲載）

b. 鬼小十郎まつり【宮城県白石市・白石城内】

（平成 30 年 10 月 6 日）

「真田幸村ゆかりの地」として出展、広報物配布と物販による PR を実施

配布物：幕末・維新 150 年大阪ゆかりの地マップ、大阪城天守閣リーフレット、大阪城公園総合ガイドブック、特別展チラシ、秋まつりチラシ、

真田幸村ゆかりの地マップ、JO-TERRACE リーフレット、MIRAIZA リーフレット

物販：大阪おこし、大阪城しおり、図録など（売上 79 千円）

兜・陣羽織・小袖の試着体験記念の写真撮影をさらに充実

昨年度より導入したプロ（文教スタジオ）による写真撮影システムを継続。試着体験料金（500 円 / 回）にて、従来の試着体験に加え登城証明書として文教スタジオのカメラで撮影したカードサイズの写真を 1 枚無償提供。そして、希望の方には大阪城の歴史解説を入れた台紙つき写真を別途販売（写真背景には大坂夏の陣図屏風を合成）。

また、海外の方にも対応できるように大きいサイズの小袖 1 着と小学校低学年に対応できる丈のピンクの小袖 1 着を新調。兜では、破損に備え後藤又兵衛兜のスペアを作成し衣裳の充実にも努めた。

大阪城天守閣 月別入場者数(前年度比)

年度	当事業年度 平成30年度(2018)			前事業年度 平成29年度(2017)			前事業年度比 (増減数及び増減率)			
	有料人数	無料人数	合計	有料 人数	無料 人数	合計	有料 人数	無料 人数	合計	率
4月	236,617	32,008	268,625	222,772	36,567	259,339	13,845	-4,559	9,286	103.6%
5月	206,303	43,850	250,153	200,405	43,362	243,767	5,898	488	6,386	102.6%
6月	169,116	21,607	190,723	176,330	23,028	199,358	-7,214	-1,421	-8,635	95.7%
7月	175,722	24,668	200,390	201,071	27,218	228,289	-25,349	-2,550	-27,899	87.8%
8月	204,616	39,845	244,461	224,674	47,507	272,181	-20,058	-7,662	-27,720	89.8%
9月	127,850	16,228	144,078	174,168	18,767	192,935	-46,318	-2,539	-48,857	74.7%
10月	198,856	35,518	234,374	202,083	35,867	237,950	-3,227	-349	-3,576	98.5%
11月	192,373	29,838	222,211	206,234	31,739	237,973	-13,861	-1,901	-15,762	93.4%
12月	149,949	20,282	170,231	170,367	21,582	191,949	-20,418	-1,300	-21,718	88.7%
1月	167,875	22,790	190,665	189,087	24,888	213,975	-21,212	-2,098	-23,310	89.1%
2月	167,487	28,107	195,594	194,021	22,608	216,629	-26,534	5,499	-21,035	90.3%
3月	206,945	31,608	238,553	221,913	38,137	260,050	-14,968	-6,529	-21,497	91.7%
合計	2,203,709	346,349	2,550,058	2,383,125	371,270	2,754,395	-179,416	-24,921	-204,337	92.6%

5. 駐車場 平成 30 年度の報告書

本年度は新たに森ノ宮普通車駐車場の運営が加わりました。駐車場のレイアウト変更を行うことにより新たに 2 台の駐車スペースを確保し、100 台収容の駐車場となりました。これにより、大阪城公園駅前普通車駐車場と比較して稼働率の高い森ノ宮駅前普通車駐車場のさらなる効率的な運営と利用者への便益性の向上を図れたと思います。

本年度は自然災害による一時的な減少は見られたものの、特に城南バス駐車場においては 3 年ぶりに 10 万台を超えるご利用台数となり、前年度比で 12.7%の増加となりました。

また、電気自動車を利用する駐車場利用者の利便性向上のため、大阪城公園駅前普通車駐車場及び森ノ宮普通車駐車場に電気自動車用の急速充電設備をそれぞれ 1 台新たに設置いたしました。

平成 30 年度駐車場利用状況

費税別（単位：円）

	森ノ宮普通車駐車場		大阪城公園駅前普通車駐車場		城南バス駐車場	
	台数	売上金額	台数	売上金額	台数	売上金額
4月	11,213	8,276,667	10,905	10,131,204	13,714	37,082,871
5月	7,272	5,718,056	9,695	8,730,417	9,756	24,592,593
6月	6,395	4,993,843	6,223	5,536,112	9,202	22,725,463
7月	7,539	6,204,028	6,911	7,355,510	8,520	19,944,445
8月	10,290	8,254,399	10,112	9,826,297	8,467	19,973,612
9月	7,143	5,960,371	8,672	8,990,463	5,752	14,235,186
10月	8,414	6,777,639	8,328	8,267,500	9,285	23,431,482
11月	9,291	7,291,852	9,456	8,553,889	9,703	22,664,352
12月	9,548	7,744,399	7,940	7,685,278	7,778	18,912,962
1月	8,686	7,085,232	7,690	7,245,463	7,418	17,861,575
2月	8,340	6,102,408	6,975	6,385,880	7,893	19,391,667
3月	11,797	9,032,038	10,351	9,133,889	10,308	26,066,204
合計	105,928	83,440,929	103,258	97,841,901	107,796	269,660,191

課題等

平成 27 年度の駐車場整備により常態化していた観光バスの待機列については春の桜のシーズンなどの一部の繁忙期を除き、ほぼ解消されております。但し、普通車駐車場を含め繁忙期については待機車両の渋滞列生じることも有り、警備員による誘導など個別の対応を講じる必要性もあり、今後検討してまいります。

6.大阪城音楽堂平成 30 度の報告書

大阪城音楽堂は、広く開放された音楽イベント施設として、平成 30 年度も下記のようにご利用いただきました。ただ、野外という特性上、12 月から 3 月までの利用に関しては、気温が低いため楽器を演奏することが難しいこともあり利用が少ないのは例年通りです。

	音楽堂利用回数 (準備・撤収含む)	音楽堂 利用コマ数	リハーサル室 利用回数(音楽 堂利用者含む)	リハーサル室 利用コマ数	音楽堂来場 者数
平成 30 年 4 月	7 回	14 コマ	13 回	20 コマ	3,760 人
5 月	13 回	26 コマ	17 回	32 コマ	13,350 人
6 月	8 回	16 コマ	9 回	16 コマ	8,717 人
7 月	12 回	24 コマ	13 回	26 コマ	12,321 人
8 月	14 回	27 コマ	14 回	27 コマ	26,056 人
9 月	15 回	30 コマ	17 回	30 コマ	19,200 人
10 月	9 回	16 コマ	9 回	15 コマ	11,000 人
11 月	10 回	18 コマ	15 回	22 コマ	7,500 人
12 月	2 回	4 コマ	4 回	5 コマ	100 人
平成 31 年 1 月	0 回	0 コマ	5 回	5 コマ	0 人
2 月	3 回	3 コマ	4 回	4 コマ	1,200 人
3 月	5 回	8 コマ	12 回	14 コマ	1,900 人
合 計	98 回	186 コマ	132 回	216 コマ	105,104 人

* 利用コマ数は、日中 1 コマ、夜間 1 コマとし、同じ団体が終日利用した場合、2 コマとして計算しています。

音楽堂設備の補修と予約方法の改善

今年度は、地震、酷暑、大雨、台風など自然災害に見舞われることが多く、施設内の排水や屋外の電気設備の補修、また 9 月に上陸した台風 21 号により大規模な清掃作業や修繕作業が発生しました。漏電対策のため屋外に面する分電盤の改修工事も実施しました。

1) 上手分電盤の改修

2) センターカメラのハウジング、コンバーターなど修理改修

また、前年度に購入したスピーカーなどの音響設備のレンタルもスタートしました。寒さのため楽器演奏が行いにくく利用回数の低い冬場については、カラオケやダンス練習を組み込んだプランを作り利用促進につとめています。一方で、より主催者が予約しやすく、舞台の利用促進になるよう、直接来館しての抽選、仮予約、本予約など煩雑な手続きを簡便にするなど、令和 2 年 1 月分の予約(1 年前に受付)から方法を変更しました。

課題等

光回線や Wi-Fi 環境などインターネットへの対応は、イベント主催者、観客側双方にとって魅力向上と利便性があるため引き続き検討してゆきます。また老朽化の進む音楽堂の搬入用の門扉をはじめ水はけ問題も引き続き課題です。

7. 大阪城西の丸庭園、迎賓館、豊松庵 平成 30 年度の報告書

大阪城西の丸庭園は大阪城公園の中でも歴史文化財を有する整備された有料庭園として、また市民の憩いの場として、今年度も数多くの市民の方にご利用いただきました。また西の丸庭園を訪れたことの無い方に来園していただく為、数多くの魅力向上事業を計画・実施し、平成 30 年度は下記のようにご来場いただきました。また、大阪迎賓館は、平成 28 年 5 月から予約専用のレストランとして事業を開始、好調なスタートを切り、認知度も高まり西の丸庭園の新たな魅力となりました。豊松庵の活用に関しては大阪迎賓館利用者にお茶会をご案内し、利用者の拡大につながりました。

課題等

観桜ナイター等のイベント開催時には多くの来園者が訪れる一方でイベント開催時以外の入園者はまだ少なく、イベント開催時以外についても西の丸庭園の来園者数増加のための魅力づくりの必要性を感じています。大阪迎賓館についてはレストランとして運営しておりますが、利用者からご要望のある少人数での飲食時の対応が困難なため、無料休憩所の一部活用等も含め検討しております。また、宴席での茶会利用などで豊松庵についても活用は増えつつあるものの、平日を含めた利用促進のための施策についても引き続き検討してまいりたいと思います。

月	西の丸庭園	豊松庵	
平成 30 年	4 月	67,560 人	13 回
	5 月	35,349 人	11 回
	6 月	20,575 人	11 回
	7 月	16,643 人	10 回
	8 月	28,952 人	6 回
	9 月	14,434 人	12 回
	10 月	33,076 人	10 回
	11 月	24,454 人	8 回
	12 月	6,172 人	9 回
平成 31 年	1 月	5,164 人	5 回
	2 月	8,746 人	9 回
	3 月	37,599 人	14 回
合計	298,724 人	118 回	

平成 30 年度実施 西の丸庭園 集客事業

PMO 主催事業

・観桜ナイトー2018	4月1日～4月15日	38,528人	
・黄金の茶室	4月1日～3月31日	1,125件	
・謎解きゲーム	4月20日～9月17日:6,206人 9月21日～3月31日:3,594人	9,800人	
・櫓特別公開	4月1日～3月31日	105,366人	12月～2月休館
・大阪城 YOGA	6月17日	175人	西の丸振替分
・WONDER LUST	10月27日	142人	
・SAKURA YOGA	3月21日	568人	
・大阪城イルミネーション	12月1日～3月3日	100,563人	
・観桜ナイトー2019	3月23日～3月31日	16,850人	

その他団体による事業

・ハウスファミリーウォーク	5月13日	2,568人	
---------------	-------	--------	--

迎賓館利用者

見学・打合せ入園含む	4月1日～3月31日	17,751人	
------------	------------	---------	--

平成 30 名年度大阪城西の丸庭園、豊松庵、迎賓館、収入

項目	区分		積算内訳		合計金額
					税抜
西の丸庭園 運営事業	入園料 収入	・一般(有料)		30,472 人	5,577,711 円
		・一般(周遊バス)		34,912 人	6,161,172 円
		・企画イベント(有料)		98,459 人	22,555,333 円
		・企画イベント(周遊バス)		58,357 人	12,301,801 円
		・迎賓館利用者収入		17,751 人	2,968,487 円
		合計		239,951 人	49,564,504 円
		観桜ナイター露店出店料			684,381 円
	西の丸運営事業 合計				50,248,885 円
豊松庵	使用料(空調使用料含む)			118 件	3,514,272 円
無料休憩所	黄金の茶室フォトサービス			1,125 件	444,456 円
大阪迎賓館	使用料 施設整備協力金含む		357 件	16,798 人	52,621,560 円
合計					106,829,173 円

平成 30 歳年度大阪迎賓館売上げ実績

月		件数	人数	売上(税抜)
平成 30 年	4 月	38 件	2,194 人	81,609,222 円
	5 月	29 件	1,644 人	77,394,807 円
	6 月	28 件	1,422 人	65,837,399 円
	7 月	25 件	956 人	43,870,944 円
	8 月	18 件	710 人	27,703,644 円
	9 月	29 件	1,554 人	81,092,957 円
	10 月	38 件	1,835 人	59,920,735 円
	11 月	34 件	1,416 人	52,010,372 円
	12 月	38 件	1,539 人	62,394,539 円
平成 31 年	1 月	22 件	775 人	28,262,698 円
	2 月	23 件	1,006 人	43,940,721 円
	3 月	35 件	1,747 人	89,588,125 円
合計		357 件	16,798 人	713,626,163 円

8 . 大阪城野球場 平成 30 年度の報告書

大阪城野球場は、7月4日、風によりフェンスが倒壊し、翌5日から、年度内は修復までの間供用できない状態でした。

(別紙参照)

予約窓口業務

大阪市が運営する会員制の施設予約システム(オーパスシステム)上で利用予約と、料金の支払いが完結しますが、会員でなくても大阪市に住む人や、市内の事業所に勤める人は利用可能であり、その人たち向けの窓口業務を行っています。平成30年度は、一般利用件数(269件)のうち、窓口直接受け付けは(63件)で、およそ23.4%となっています。

使用状況の確認と維持

窓口と野球場が離れているため、使用確認については、園内施設を巡回するスタッフが、適宜目視で使用確認をしています。降雨の場合、キャンセルせずに使用されていないケースも見受けられます。また、照明設備は夜間の予約がある場合に自動点灯しますが、降雨が予想される場合は、予約者に電話し、使用するかどうかの確認を行っています。キャンセルの場合は、オーパスシステムで予約データを消さないと、利用者がいないのに照明が点灯し、無駄な電力を消費してしまいます。また供用できなかった期間は、野球場をコーンで囲み、夜間は点滅灯を付けるなど注意喚起を行いました。

課題等

令和元年度からの供用開始に向け、修復工事は2019年3月末に完了しました。また、外周のフェンスや照明設備などの老朽化も進んでおり、損傷等が無い点検を行うとともに更新についても近い将来検討する必要があるのではないかと思います。また、利用促進については運動会などで利用したいとの要望を頂くことも有り、野球以外での利用等で来園者の要望に応じた活用ができるかについても検討したいと思います。

< 過去の利用状況との比較 >

	平成 29 年度			平成 30 年度		
	一般利用	整備・工事	小計	一般利用	整備・工事	小計
4月	98 件	8 件	106 件	75 件	9 件	84 件
5月	116 件	30 件	146 件	97 件	0 件	97 件
6月	85 件	0 件	85 件	91 件	4 件	95 件
7月	119 件	8 件	127 件	6 件	189 件	195 件
8月	97 件	7 件	104 件	0 件	217 件	217 件
9月	110 件	7 件	117 件	40 件	165 件	205 件
10月	60 件	0 件	60 件	0 件	186 件	186 件
11月	90 件	0 件	90 件	24 件	156 件	180 件
12月	59 件	10 件	69 件	0 件	186 件	186 件
1月	39 件	0 件	39 件	0 件	186 件	186 件
2月	54 件	0 件	54 件	0 件	168 件	168 件
3月	79 件	0 件	79 件	0 件	186 件	186 件
合計	1006 件	70 件	1076 件	333 件	1652 件	1985 件

* オープスシステムサーバのデータでは、同じグループの連続使用が判別できない為、利用数は利用コマ数となっています。

9 . JO - TERRACE OSAKA 平成 30 年度の報告書

大阪城公園駅前エリアの事業が整い、飲食店舗 14 店舗 物販店舗 3 店舗 ランナーサポート施設 1 店舗 合計 18 店舗、レストラン・ブライダル施設 1 店舗 合計 19 店舗が開業しています。
 (平成 31 年 3 月末現在)また、JR 大阪城公園の駅より施設へ直結するペDESTリアンデッキや、公園内の案内など来園者の問い合わせなどに多言語で対応することのできる総合インフォメーションも施設内に併設されています。集客状況もほぼ予定通りに推移していましたが、ちょうど開業 1 周年を迎える 6 月に、大阪府北部の地震(平成 30 年 6 月 18 日発生)や、9 月には台風 21 号(平成 30 年 9 月 4 日発生)の被害をうけて施設運営にも大きな影響を与えました

平成 30 年度の店舗売上・施設利用者数は下記の通りです。

平成 30 年度 JO-TERRACE OSAKA 売上・利用状況

消費税別(単位:円)

	売上	利用者数	備考
平成 30 年 4 月	234,010,523 円	117,669 人	
平成 30 年 5 月	211,491,130 円	101,198 人	
平成 30 年 6 月	159,080,160 円	77,084 人	大阪北部地震
平成 30 年 7 月	175,536,935 円	84,853 人	
平成 30 年 8 月	183,321,283 円	102,961 人	
平成 30 年 9 月	211,852,229 円	71,464 人	台風 21 号 城の森がイン グ 撤退
平成 30 年 10 月	201,777,312 円	90,700 人	
平成 30 年 11 月	205,149,284 円	89,370 人	錦城亭契約解除
平成 30 年 12 月	188,853,664 円	86,979 人	タカヒロラーメン休業
平成 31 年 1 月	155,835,023 円	69,831 人	
平成 31 年 2 月	174,397,097 円	72,969 人	
平成 31 年 3 月	242,205,982 円	108,092 人	
平成 30 年度合計	2,343,510,622 円	1,098,683 人	

利用者数は各店舗レシート客数になります。

JO-TERRACE OSAKA 運営状況

施設利用状況は、週末や休日・大阪城ホールイベント開催日・太陽の広場イベント開催日を中心に利用者が増加する傾向は昨年と同様です。春の期間は本施設において最も集客がある期間であることを各店舗体験しました。夏の期間は猛暑対策としてドライミストを設置しました。効果確認はむずかしいですが来園者の声としてはおおむね好評でした。しかし集客の面では昨年実施

された太陽の広場でのプールが実施されなかったことは、店舗集客にマイナスの影響を及ぼしました。秋の期間は台風 21 号の影響で集客においては大変苦戦をしました。冬の期間は、夜間の集客拡大の為、西の丸庭園でのイルミネージュやサクヤルミナと連携して、割引施策などを実施したり、施設中央にあるシンボルツリーにイルミネーションを設置したりして、賑わい創出に努めました。

課題等

課題として、 イベント時等施設混雑時にトイレ待ちの長蛇の列が、施設共用部トイレ・施設に隣接する公衆トイレ両方で発生し、施設通行の障害等が発生しています。喫煙スペース設置は平成 30 年度に実現しましたが来園者への案内が、まだまだ行き届いていないのが現状です。ホームページやサインやマップ等で周知を実施して参ります。ごみ箱設置について、現店舗のうち半数以上がテイクアウト商品を販売しています。実施店舗にはごみ箱の設置をお願いしていますが十分にまかなえている状況ではありません。公園施設として設置の有無を検討しています。

各店舗が従業員の確保に苦勞しており、営業時間や営業日などがオープン当初の内容を維持することが困難になり、営業時間短縮や定休日導入を実施する店舗や中には人材確保ができず休業を余儀なくされる店舗も 1 店舗ありました。今後施設としても店舗と情報共有を行い、施設の運営規則等も柔軟に対応して参ります。2 店舗テナントの撤退がありましたが、テナント側のメニューの魅力が無いことや資金不足から店の設えが十分でなく、魅力に欠けていたことが原因と考えています。新たに誘致するテナントについては商品の魅力や実績なども考慮したうえで魅力ある店舗づくりのできるテナントを誘致いたします。

平成 30 年度 JO-TERRACE OSAKA 収入

関係店舗	項目	金額
JO-TERRACE OSAKA (A～F 階) 18 店舗	使用料等	186,524,246 円
JO-TERRACE OSAKA (G 階) 1 店舗	使用料等	73,379,028 円
直営オフィシャルショップ	売上原価益	19,214,558 円
収入合計		279,117,832 円

10. MIRAIZA OSAKA-JO 平成 30 年度の報告書

旧第四師団司令部庁舎をリノベーションし、平成 29 年 10 月に新たな複合施設した「MIRAIZA OSAKA-JO」。1 階にカフェとお土産物ショップ、2 階 3 階にレストラン、屋上には、眺望の美しい屋上テラス・レストランを開設しています。

また、玄関口に観光情報を発信するインフォメーションを設置し、1 階南端には大阪城公園の歴史を解説した展示エリアを設けて、本丸エリアを訪れる人々へ情報を提供しています。

運営状況

レストラン&カフェ

1 階には、喫茶・軽食を提供するカフェと、たこ焼きをメインにした飲食店を配置しています。季節に合わせたメニューを打ち出し、気軽にご利用いただける憩いの場を提供しています。

2、3 階には、近代建築を生かしモダンな内装の中で、ランチやディナーをお楽しみいただくレストランを配置しています。オープン以来、来園者の昼食から、宴会や結婚式、各種パーティなどにもご使用いただき、たいへんご好評を得ています。

屋上には、天守閣を臨むテラス・レストランを設置し、3 月から 10 月は、季節限定でバーベキューのできるテラス・レストランとして営業しています。日本随一のキャスルビューを楽しみながら食事ができ、各種メディアにも大きく取り上げられ、多くの方々にご利用いただくことが出来ました。冬季は、展望カフェとして営業しました。

お土産物販売

本丸エリア西側にあった売店「大阪城・本陣」を本施設の 1 階に移設し、「本陣」「忍屋」という 2 店舗にして営業しています。大阪城ならではのグッズから、大阪らしいお土産物、日本の心を伝える和雑貨、世界的な人気を集めるクールジャパン・キャラクター雑貨、伝統和菓子や工芸品など幅広く取りそろえ、海外からの観光客にも楽しんでいただきました。

また、1 F 展示室に掲示している大阪城公園の名所の絵葉書や天守閣作成のガイドマップなども販売し、ご好評をいただいています。

一方、本丸広場から本施設正面玄関に向かうエリアには、ベンチやパラソル、テラス席を配置していることもあり、天守閣など本丸エリアを訪れた人々が憩う場所になっています。ここでは、MIRAIZA OSAKA-JO のショップによる露店販売を実施し、賑わいを創出しています。

インフォメーション

1 F ロビーの観光インフォメーションでは、大阪城公園の情報をはじめとし、大阪観光のお手伝いもできるよう幅広い情報を提供しています。天守閣のインフォメーションや JO-TERRACE OSAKA、パークセンターとも連携し、公園内の回遊性の向上を図っています。引き続き、旅行者にとっての「旅のコンシェルジュ」となることを目指します。

歴史情報等の発信

1 F 南端に設置した展示室「特別史跡・大坂城跡」は、大坂城公園の歴史と公園各所の見どころを解説・展示したエリアで、オープン以来、多くの来場者の方にご覧いただいています。また、展示室と連動して、インフォメーションで公園各所の見どころを掲載した「大坂城公園・見どころマップ」を、必要な方に無料でお配りしています。

体験施設

地下1階の北側と南側に、2つの体験施設を平成30年6月にオープンしました。

1つは「侍・忍者体験」。大阪市内ですでに外国人観光客を中心に人気を博している「日本殺陣道協会」による「殺陣」の体験を、天守閣の目の前にある本施設の中で展開しています。着物の着付けから始まり、刀の持ち方、振り方の指導を経て、最後にはチャンバラを体験しています。侍や忍者の姿で記念写真も撮影できるという、まさに日本文化を丸ごと体験できる施設で、さまざまな国からの観光客にお楽しみいただきました。

もう1つは、古今東西のマジック、トリック、イリュージョンを一堂に集めた「イリュージョン・ミュージアム」です。マジック界のアカデミー賞とも言われる「マーリン・アワード」を、日本人として20年ぶりに受賞したメイガス氏の監修のもと、言語に左右されず「見ただけで楽しい」イリュージョンの数々について天守閣の貯蔵品も一部使用した展示を行い、マジックの歴史を紹介しています。実際にマジックを体験するコーナーを設け、特に子供たちに好評を博しています。

目玉として、1日に10回以上、イリュージョンショーを開催。目の前で繰り広げられるライブは、年齢・性別や出身国を問わずどなたでも大いに楽しめ、大好評を博しています。

平成30年度 ミライザ大坂城 各店舗売上 および PMO収入

消費税別（単位：千円）

月	物販 (本陣・忍屋)	軽食 (列・ズ・利休)	レストラン (TLO)	ウエディング バンケット	地下施設 殺陣・IM
4	75,364	14,356	54,586	140,292	
5	57,438	11,508	45,268	62,148	
6	48,559	8,875	34,990	58,893	2,686
7	52,225	11,988	41,793	55,049	7,981
8	58,586	17,301	41,303	29,290	10,500
9	34,468	9,476	27,776	108,031	5,824
10	57,134	13,322	24,412	105,385	6,860
11	50,713	12,890	20,416	127,754	5,882
12	50,751	12,065	21,569	71,549	5,495

1	43,005	11,060	10,545	28,799	5,876
2	44,711	10,776	13,109	78,125	5,186
3	64,772	17,447	17,661	104,529	7,144
合計	637,726	151,064	353,428	969,844	58,253

課題等

昭和初期の近代建造物であることを意識し、施設、設備の良好な維持管理を遂行して参ります。専門技術者による日常点検、専門業者による法定点検、定期点検等により、不具合の発生を未然に防止し、常に正常に稼動するよう努めます。清掃については、来館者が快適に利用できるよう、常に施設を清潔・衛生的に保持するとともに館内外の美観保持に努めます。建物の維持・保全については、歴史的建造物であることを踏まえた上で、日常的に点検・監視し、ひび割れ、建具等のがたつきなどの前兆の発見に努め、早期に対応します。また、改修等を要するもの、その恐れのあるものを発見したときは、市主管課へ急に報告・相談し、その措置について協議してまいります。

本施設の重厚な構えから、一見して利便施設であることが認識しづらく、動線上やや敬遠されがちなどがあり、引き続き積極的な来客誘導を図っていくことは必要と考えています。昭和初期の歴史的建造物で、広く市民にも知られていることを考え、施設の景観に相応しい形で、建物前面にて賑わいづくりを行い、施設への来客誘導を図っていきたいと思います。また、国内外の観光客の誘致に向けた旅行サイトなどを利用したプロモーションや旅行代理店に対して団体客用の食事メニューを開発して誘致する等对外発信を行ってまいります。

新たにオープンした地下施設は、当初の来場者数の目標を達成することはできませんでした。2年目となる令和元年度は、閑散期と繁忙期の休館日設定を変えるなど、現状に即した形で収支を改善し、大阪城の新たな観光名所化の目標に、近づけていきたいと考えています。

また、2階・3階のバンケットルームでは、店舗と相談のうえ、歴史や文化にまつわるイベントを絡めて使用するなど、新たに意義ある利用の促進を図ります。

屋上について、バーベキューレストランとして活用したほか、冬季についてはカフェ営業を実施しましたが、今後も天守閣を借景にした眺望をより生かすことのできる活用を行っていきたいと思います。

11. 園内交通システムの運行について

園内交通システムは昨年度に引き続き、来園者の利便性と周遊性向上のためロードトレインとエレクトリックカーでの運行を行いました。来園者の増加と認知度の向上、ロードトレインの車両増加等により、ご利用者が大幅に増加しました。当年度はエレクトリックカーの台数が6台となり、大幅に便数が増えたことをご利用者数が伸びました。

園内交通システム 平成30年度実績												
											(金額:円 税抜)	
	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森/宮駅	5,986,574	19,633	5,944,074	18,887	5,604,259	16,833	7,385,741	21,477	9,491,204	27,725	4,167,407	12,718
大阪城公園駅	1,355,278	5,028	1,412,685	5,006	1,265,093	4,142	1,635,463	5,022	2,097,963	6,689	1,025,463	3,436
極楽橋駅	2,582,130	10,498	2,674,259	10,615	2,146,019	8,359	2,602,500	10,125	3,205,556	12,593	1,403,981	5,569
豊國神社前駅	842,593	3,672	696,296	3,065	533,056	2,255	677,037	2,768	1,020,185	4,128	492,963	2,040
小計	10,766,574	38,831	10,727,315	37,573	9,548,426	31,589	12,300,741	39,392	15,814,907	51,135	7,089,815	23,763
エレック1号	1,627,963	10,194	94,352	588	834,074	5,010	0	0	0	0	213,796	1,283
エレック2号	0	0	0	0	858,426	5,228	1,605,000	9,531	1,900,926	11,479	1,024,444	6,135
エレック3号	0	0	0	0	702,315	4,191	1,375,648	8,234	1,660,370	10,017	0	0
エレック4号	0	0	0	0	722,037	4,377	1,424,167	8,488	1,133,426	6,830	808,796	4,867
エレック5号	0	0	0	0	404,722	2,426	1,384,722	7,994	1,268,148	7,305	837,963	4,842
エレック6号	0	0	0	0	95,926	585	0	0	97,685	598	267,870	1,636
クラシック1号	824,167	5,208	1,431,852	8,851	288,704	1,760	0	0	0	0	0	0
クラシック2号	299,444	1,868	993,148	6,187	228,241	1,388	0	0	0	0	0	0
小計	2,751,574	17,270	2,519,352	15,626	4,134,444	24,965	5,789,537	34,247	6,060,556	36,229	3,152,870	18,763
合計	13,518,148	56,101	13,246,667	53,199	13,682,870	56,554	18,090,278	73,639	21,875,463	87,364	10,242,685	42,526
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数
森/宮駅	7,088,889	21,853	5,718,426	17,998	6,103,056	18,488	5,550,278	16,547	5,988,333	18,290	6,108,796	19,365
大阪城公園駅	1,328,241	4,572	1,062,593	3,962	975,463	3,195	957,500	3,088	985,926	3,473	1,017,407	3,787
極楽橋駅	2,320,926	9,483	1,844,907	7,781	1,419,167	5,703	1,329,352	5,259	1,782,315	7,235	2,023,889	8,463
豊國神社前駅	697,222	3,033	595,093	2,627	475,185	1,974	474,630	1,929	648,981	2,859	856,852	3,805
小計	11,435,278	38,941	9,221,019	32,368	8,972,870	29,360	8,311,759	26,823	9,405,556	31,857	10,006,944	35,420
エレック1号	146,019	887	227,222	1,400	80,463	504	42,315	254	208,148	1,258	600,000	3,808
エレック2号	1,374,352	8,151	1,006,852	6,331	480,741	2,983	615,556	3,757	674,630	4,217	733,519	4,497
エレック3号	1,055,185	6,458	997,130	6,176	443,333	2,709	419,074	2,539	517,778	3,152	575,509	3,558
エレック4号	1,086,389	6,637	1,042,315	6,524	872,037	5,368	514,074	3,125	687,685	4,154	775,741	4,955
エレック5号	988,056	6,060	1,001,296	5,993	680,000	4,175	203,519	1,246	554,630	3,333	826,852	4,997
エレック6号	218,796	1,303	225,648	1,446	638,611	3,918	733,426	4,350	580,463	3,480	820,648	5,206
クラシック1号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラシック2号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4,868,796	29,496	4,500,463	27,870	3,195,185	19,657	2,527,963	15,271	3,223,333	19,594	4,332,269	27,021
合計	16,304,074	68,437	13,721,481	60,238	12,168,056	49,017	10,839,722	42,094	12,628,889	51,451	14,339,213	62,441
	合計											
	金額	人数										
森/宮駅	75,137,037	229,814										
大阪城公園駅	15,119,074	51,400										
極楽橋駅	25,335,000	101,683										
豊國神社前駅	8,010,093	34,155										
小計	123,601,204	417,052										
エレック1号	4,154,815	25,186										
エレック2号	10,274,444	62,309										
エレック3号	7,746,343	47,034										
エレック4号	9,066,667	55,325										
エレック5号	8,149,907	48,371										
エレック6号	3,679,074	22,522										
クラシック1号	2,544,722	15,819										
クラシック2号	1,520,833	9,443										
小計	47,136,806	286,009										
合計	170,738,009	703,061										

課題等

車両の性能の関係上、JO-TERRACE OSAKA 駅に乗り入れできない車両があるため、ご利用者から行先が分かりづらいなどの声が上がっております。早急には難しいですが、車両の入れ替えをも検討しており改善していきたいと思っております。また、各駅でのスタッフの対応などのホスピタリティーについてこれまで改善を図ってきましたが、まだ不満の声をご利用者から頂くことがあり、引き続きホスピタリティーの向上を図っていく必要があります。

安全管理においては、森ノ宮噴水前から青屋門にかけての歩道の舗装を行ったため、トレインの走行ルートでの歩行者は減少しましたが、特に休日にはランナーや自転車が多いため接触の危険性も高まる可能性があり、ランナーや自転車の走行路を路面に明示する等についても今後検討していきたいと思っております。

12.施設・公園管理 平成 30 年度の報告書

平成 30 年度は昨年度の状況を踏まえ、公園利用者の利便性・安全性の向上を目指し、日々の業務に取り組みました。また、新たに森ノ宮エリアの 3 店舗、MIRAIZA-OSAKA-JO 地下施設、COOL-JAPAN-PARK-OSAKA の開業により公園施設が増えましたが、既存施設の作業スケジュールの見直し等を行い、計画どおり実施しました。今後も日常点検や定期点検の際に発見した不具合箇所をもとに、大阪市公共施設マネジメント基本方針に準じた修繕を実施致します。

年間・月間作業実績

関係法令等を遵守し、作成した年間・月間維持管理計画に基づいて実施いたしました（資料 1）。昨年度の実績を参考に年間・月間作業計画を作成し、毎月大阪市に報告・承認を得たうえで実施してまいりました。令和元年度も平成 30 年度の状況を踏まえ、公園利用者の安全を最優先に関係各所と調整して作業計画を作成します。

日常点検及び定期点検

公園利用者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて巡視を実施し、施設及び設備の不具合箇所や不適正利用の早期発見に努めました。公園管理車両は国内外からの公園利用者に十分注意し、園内走行中のパトライト点滅・放送及び最徐行での走行を徹底しましたが、4 月に汚水槽での作業中のユニック車が、移動中にブームの折りたたみ忘れにより桜門の下部にブームを接触させる物損事故を発生させてしまいました。再発防止に向け、植栽業者を含めた安全対策会議を開催し、園内での安全運転・安全作業について再徹底するよう指導しました。

定期点検に関しては年 2 回実施し、報告書を大阪市へ提出するとともに、点検時に発見した不具合箇所を大阪市と共有しました。

清掃

園内清掃に関しては、増加する公園利用者に対応するため、トイレ清掃を最大で 1 日 4 回まで実施するとともに、定期的に清掃状況の品質確認・指導を行うことで品質向上に努めました。トイレの使用方法等に関しては多言語での案内を行い、利用者のマナー向上の啓発を行いました。また、試験的に実施した洗剤の見直しにより消臭効果が確認できたことから、平成 31 年度から使用する予定です。

園内の美化については、ボランティア清掃等市民との協働による公園管理の推進にも努めました。

警備

園内巡回は公園内を大きく 3 つのエリアに分割して実施し、不適切な公園利用を行っている者（釣り、スケートボード、自転車等の危険行為、犬のリード外し、ドローン飛行、騒音、公

園内ビラまき、無許可営業行為、他の公園利用に迷惑となるような長時間占用行為等)及び明らかにその恐れがあると認められる者を発見した際には直ちに制止して、適正かつ安全な利用を行うよう指導しました。現場に駆け付ける際には不適切な公園利用の早期発見に努めるため、園内をグリッド状に再分割して該当エリアを伝達しやすくなるように工夫しました。不適切な公園利用が発生した際には、公園利用者への呼び掛けや注意喚起の看板設置、ホームページ上での啓発を実施することで抑止に努めました。特に、公園利用者の多い休日にも園内巡回を実施することで公園利用者のマナー向上に貢献しました。

また、櫓公開時のチケット売り場前の狭隘箇所における接触事故防止、天神祭りの際の天守閣周辺での花火見物客対応、桜開花時期の森ノ宮交差点付近の渋滞対策等を目的として臨時に警備員を増員配置し、来園者の安全確保に努めました。

事件・事故が発生した際には適切かつ迅速に対応し現場の保存と被害の拡大防止に努めるとともに、大阪市に即時に報告して情報共有を図りました。また、園内巡回のルートや時間帯を定期的に見直すことで事件・事故の未然防止に努めました。

放置自転車・ホームレス対策

公園内における放置自転車対策として、エフの取り付けや啓発看板の設置を行い、年間で48台の放置自転車を園内移動・保管し、大阪市に報告しました。園内走行の自転車に関しては、幸い平成30年度も無事故でしたが、ロードトレイン・エレクトリックカーの走行箇所は接触事故の可能性も高まりますので、令和元年度は走行可能なエリアを限定する等、公園利用者に安心して過ごしていただけるような環境の構築を検討します。

ホームレス対策としては、小屋掛けなどによる不法占用行為がないよう、毎日園内巡回を行いました。また、移動型ホームレス等に対しては、公園内で起居をさせないよう定期的に聴聞を行うとともに、大阪市に随時報告を行いました。

「公園猫適正管理推進サポーター制度」にかかる対応ほか

公園猫適正管理推進サポーターからの報告書等の提出があった場合は受付を行い、大阪市へ適切に引き継ぎました。動物の愛護及び管理に関する法律に基づき動物の遺棄・虐待・身勝手な給餌行為(置き餌、撒き餌など)の取り締まりを行うとともに、これらの行為を行わせないように注意喚起を行い、公園利用者への啓発に努めました。

バーベキュー対策

平成29年末より実施したBBQの全面有料化により、無許可のBBQ事業者による長時間の場所取りをしておける営業、大量に発生する放置ごみの問題がほぼ解消されたため、今年度も引き続き同様に実施しました。

警備においても、火気を使用したBBQ・花見については速やかに消火するよう依頼し、失火防止に努めました。

光熱水使用実績

年間の光熱水（電気・水道・ガス）使用量について電気使用量に関しては、新たに森ノ宮エリアの3店舗、MIRAIZA-OSAKA-JO 地下施設等の施設の増加に伴い、使用量が増加傾向にあります。（平成28年度：3,715 Mwh、平成29年度：6,007 Mwh、平成30年度：7,461 Mwh）園路灯・施設のLED化を順次進めており、引続き電気使用量の削減に努めて参ります。水道使用量に関しては漏水箇所の止水・迅速な修繕の実施により使用量の削減に努めましたが、施設や来園者の増加に伴い、使用量が増加しました。（平成28年度：104,253 m³、平成29年度：134,171 m³、平成30年度：138,135 m³）台風21号被害により、長期間立ち入れなかったエリアで倒木による漏水が発生していたことも要因の一つとなりました。

修繕実績

点検等の結果、異常を発見した施設及び設備については危険箇所の啓発を行うとともに、簡易な補修・修繕は内製化することにより迅速な復旧に努めました。作業の実施にあたっては、危険防止のための作業エリアをバリケード等で囲い、公園利用者及び作業員の安全対策を講じた結果、今年度も人為・人身事故なく一年間を過ごすことができました。

特に、平成30年9月の台風21号被害に対しては、集客施設を優先的に復旧させ、来園者・利用者の安全を最優先として復旧にあたりました。

廃棄物実績

来園者の増加に伴い、全体のごみの量が増加しており、公園利用者への注意喚起を通じてマナー向上・ごみ持ち帰りの呼び掛けに取り組みました。また、ごみの量に比例して処分費用も増加しているため、運営コストの削減を目的として収集運搬・処分業者を変更しました。

要望・苦情一覧

平成30年度は年間を通じて102件の問い合わせや要望・苦情を頂戴しました（資料5）。公園利用者、市民等からの頂いた要望・苦情に対しては誠意を持って対応し、措置が必要なものに対しては原因究明と不具合解消に向けて取り組みました。

車両通行許可

平成30年度は園内の車両通行許可書を7,729台分発行いたしました。通行許可にあたっては園内規制速度(20km)や重量基準(積荷と合わせて8t以下)などを順守し、園内の安全確保に努めるよう指導しました。

占用許可の窓口としての対応業務

占用許可の対応窓口としてイベントの日程調整や安全管理等を主催者側と打合せを行いました。

行為許可

平成 30 年度の行為許可実績は 760 件 6,023,000 円となりました。

課題等

課題としては集客施設やイベントの増加などともなあって公園内のトイレに関して数の不足や清掃状況に対する不満などのお声を多くいただくようになっております。トイレのご利用が集中する際には周辺のトイレもご案内する等して分散化を図り、清掃に関しては洗剤の変更などで臭気の改善を図ることや外国の方にもトイレのご利用方法をよりわかりやすく掲示するなどの対策を行ってまいります。

13. 緑地管理 平成 30 年度の報告書

来園者に対し、気持ち良く安全な公園の緑・草花景観を提供するために大阪城公園事務所と適宜打合せを行い、経験、知恵を頂きながら緑地管理を計画し、その都度現場の作業を行いました。また、石垣、濠など大阪城公園特有の施設に対し格別の注意を払い管理を行いました。植物発生材は剪定枝、落ち葉、刈り草などの植物ごみを園内処理する目的で、植物発生材のチップ化を行い活性堆肥として園内のマルチングに利用しました。そして台風 21 号では多くの倒木、傾斜木、枝折れ等の被害が発生しました。それらの伐採、抜根、剪定等災害復旧業務は年度内で完了しました。

事業計画に対して

(1) 留意事項

実施に当たり、関係法令等を遵守するとともに、年間・月間維持管理計画を作成し、大阪市の承認を得たうえで、適切な時期・方法により行いました。

業務の実施にあたり来園者の安全を確保するため、日々の管理業務と併せて土・日・祝日を含めた園内巡視・日常点検を行い、樹木や植栽の枯損、枯枝などの不具合等を発見した場合、適切かつ迅速に対応し、適正な公園利用、維持管理、安全対策に反映させました。

作業にあたっては、危険防止の為作業エリアをカラーコーン、バリケード等で囲い、「作業中・立入禁止」であることを明示し、必要に応じ交通整理員・見張り員・誘導員等を配置し安全対策につとめました。またやむを得ず通行止めや通行規制等を行う場合は、事前に協議し来園者・公園利用者の安全対策を講じました。

園内で事故が発生した場合は、速やかに対応・処理・拡大防止を行うとともにその状況等を大阪市及び関係機関に連絡・報告しました。

剪定枝葉等の運搬にあたっては、飛散防止対策を講ずると共に過積載防止を遵守し関係法令の定めに従いました。

園内管理車両は公園利用者に十分注意し、最徐行にて走行しました。

管理対象植物の台帳管理を行いました。また植栽により増数、撤去により減数が発生した場合は台帳更新を行い、別表で管理しました。

樹木管理に当たっては常に公園内の見通しを確保し、事故や犯罪等の発生の抑制に努めました。

枯損木、危険木、枯枝、掛かり枝の早期発見に努め、迅速かつ適切に除去して枝等の落下事故等の発生予防に努めました。また回収、運搬の際には積荷の飛散防止、荷台からはみだした枝などによる事故などの発生予防に努めました。

当該公園に植栽された植物の特性を踏まえ、植物の良好な生育に必要な作業を、最も適切な時期に適切な方法で細心の注意をもって作業にあたりました。

農薬管理台帳を作成しました。公園内保管は行っておりません。必要になった場合、その都度持参し、使用後の残りは持帰りました。

除草剤は使用しておりません。その他殺虫剤等の農薬使用に際しては、飛散範囲や散布後の効能期間、公園利用者等の健康面（アレルギー等）にも十分配慮して作業を行いました。

植物の処理については、所定の場所に集積しました。廃棄物の処理及び清掃に関する法律など、関係法令を遵守し、適切に保管・処分を行いました。なお、剪定枝等の処分について、30年度は、公園管理者(大阪市)と協議のうえチップ(活性堆肥)化や堆肥へのリサイクルなど、環境に配慮した処分に努めました。

(2) 管理の水準

剪定（高木）

- ・ 樹種特性や樹勢に応じて剪定の必要性や度合いを見極め、最も適切な時期と方法で行いました。
- ・ 公園樹木の剪定は、自然樹形仕上げを基準とし、骨格枝を更新するなどの方法を活用して樹形を維持しました。
- ・ ウメ、モモ、アジサイ、フジなど花木類の剪定は、花芽の分化時期や着蕾位置に注意して行いました。
- ・ 枯枝や混みあった枝等の枝抜き（間引き）作業などを適切に行いました。
- ・ 並木等、園路や広場など利用が多い場所は、とくに枝の落下等の危険性を除去するとともに、景観面に配慮し、枯枝及び枝抜きなどを適切に行いました。
- ・ 高所作業の災害発生を防止するため、必要な安全対策を講じ、作業を行いました。

刈り込み（中低木）

- ・ 低木類が大きく育ち、園路へのはみ出しによる通行障害や見通し不良など不具合があったため、大きく切り詰める作業を実施しました。

- ・密生箇所を刈り透かし、刈地原形を考慮しつつ、年間を通して美観を損ねないよう適切に刈り込みました。
- ・美観を維持する為、主幹園路や濠沿いの刈り込みは連続性をもった景観保持に留意し、エリアごとに完成させてから、次のエリアに移りました。
- ・道路際や園路際で通行障害となる箇所及び施設等と隣接地においては、安全等に配慮し、刈り込みを適宜行いました。
- ・生垣は適切な時期に樹形の整正を行うための刈り込みを行いました。
- ・花木類を刈りこむ場合は、花芽の分化時期と着蕾位置に注意して行い、開花させることができました。
- ・刈り込みの際は、植栽地内及び周辺の除草も併せて行い、ヤブガラシなどツル性の雑草については、出来る限り根から抜き取り除去しました。

枯木撤去

- ・枯木の有無を日常的に点検し、早期発見と撤去に努め、倒木による事故等を未然に防ぎました。また作業にあたっては安全な作業領域を十分に確保し、事故等を未然に防止しました。
- ・樹木撤去については、原則抜根しております。抜根にあたっては、周辺の舗装、縁石等を損傷しないよう十分注意しました。
- ・抜根は根返り倒木したもの、史跡に影響のないもので実施しました。史跡が浅く抜根が出来ない場合は、切削または地際での伐採を行いました。作業内容の選定は大阪市教育委員会文化財保護課が現場立会いのもと行いました。
- ・根または幹の一部を存置する場合は、事故が生じないよう適宜対策を講じました。

障害枝等剪定

- ・来園者や管理車両の通行等の障害となる枝や、枝折れによって落下するなど、事故につながるおそれのある枝は切除し、来園者等の安全確保に努めました。
- ・枯枝の有無を日常的に点検し、早期発見と除去に努め、落枝による事故等を未然に防ぎました。

病虫害防除

- ・農薬使用にあたっては、農薬取締法等の関係法令やメーカーの使用安全基準を遵守するとともに、使用を最小限にとどめるように努めました。
- ・農薬は使用時持参し、使用后持帰り保管することを徹底し、大阪城公園内に保管することはありませんでした。
- ・散布に際しては、「公園・街路樹等の病虫害・雑草管理マニュアル(環境省水・大気環境局 平成22年5月)」等を遵守するとともに、散布にかかる事前・事後の周知方法及び期間については、事前に大阪市の承諾を得ました。

- ・害虫発生の早期発見に努め、極力、農薬を使用しない方法（剪定防除、捕殺、巣網剪除等）により防除を行いました。使用する場合は、事前事後の告知等により来園者に周知の上、安全衛生対策を実施しました。
- ・病気発生の早期発見に努め、原因に応じた農薬を使用して早期に改善しました。なお、松枯病、PPV等の発生時には被害の拡大を防止する為の処置を迅速に行うこととしておりました。今現在上記緊急性を要する事項は、確認されていません。
- ・28年度にカシノナガキクイムシが発生し、対応したため、平成30年度も防除として発生樹木(シラカシ、マテバシイ)に対しカシナガホイホイ取り付けの対応を取り対象樹木の枯死を防ぐ事が出来ました。
- ・平成30年1月に特定外来生物に指定されたクビアカツヤカミキリについて、公園内のバラ科樹木の点検を実施しました。フラスは発見されましたが当該害虫では有りませんでした。今年度も引き続き点検を実施していきます。

灌水

- ・花壇、地被植物、芝生、花木、植栽樹等が枯損しないよう適宜灌水を行いました。

施肥

- ・施肥を行う際は、樹木特性や肥料の目的（寒肥、追肥等）を考慮し、最も効果的な時期、方法で行いました。

その他

- ・不要になった支柱及び添木は速やかに撤去しました。
- ・支柱等の結束に使用する針金等は、端部処理及び保護を適切に行いました。
- ・損傷、老朽した支柱や結束材は適宜交換・補修を行いました。また必要がなくなったものは撤去致しました。

ウメ、モモの管理

- ・花後、早咲きから遅咲きの品種に合わせて翌年の開花に影響を与えないよう速やかに剪定を行いました。また樹形維持のために枝等の更新を行いました。
- ・花後の剪定以降、成長に合わせて芽摘みを行い、小枝の展開と充実を図りました。
- ・開花前に整枝剪定を行い、樹形を整えました。
- ・梅林、桃園の管理については、とくに留意しました。
- ・PPVの感染予防として大阪城公園梅林、桃園専用の剪定鋏、ノコギリを使用し、前後にはアルコール消毒を行いました。また、その道具を誰が何時使用したか履歴確認が出来るよう台帳管理を行いました。

マツの管理

- ・ 樹木全体や枝ごとの樹形及び樹勢を考慮して、適切な時期にもみ上げを行いました。
- ・ 剪定作業は台風復旧作業の影響で本丸を年末に、本丸以外を年明けに行いました。

芝生管理

- ・ 刈り残しやムラが無いよう均一に刈り込み、除草は原則手抜き除草とし丁寧に抜き取りました。
- ・ 育成の為、エアレーション、目土散布、灌水、施肥等の作業を適切に行いました。
- ・ 西の丸庭園及び大阪城野球場の芝生管理は、年間を通して常に良好な状態を保つため、芝生の生育状況を把握し、芝刈り、病虫害防除、灌水、施肥、目土等を必要に応じて行いました。また芝刈りは、樹木、施設などに損傷を与えないよう注意し、刈り残しやムラの無いよう均一に刈り込みました。縁切りは、隣接植栽帯に「ほふく茎」が進入しないよう切り込みました。

地被管理

- ・ 植樹帯等にある地被については、ごみ、雑草、落ち葉等の堆積に留意し、適正に管理しました。また、枯等により景観を損ねた場合は補植しますが平成 30 年度に補植は有りませんでした。

花壇管理

- ・ 園内の路地花壇、プランター等は常に美しく鑑賞できるよう年間計画書を作成し、当該計画書に基づき植替えを行いました。
- ・ 適宜、中耕除草、花がら摘み、灌水、施肥等の必要な作業を実施し、草花の良好な状態を維持しました。

野球場・太陽の広場等の整備

- ・ 野球場や太陽の広場等のメンテナンス作業を行う場合は、事前に利用状況等を確認し、年間のメンテナンス計画を作成して作業を行います。作業の実施にあたっては、施設利用者に広報を通じて周知しました。
- ・ 運動施設の機能性や安全性、快適性に配慮し、常に良好な状態を維持するよう努めました。
- ・ 必要に応じて、土入れ、不陸整正、集積桝清掃などを行いました。

濠及び流れ等（自然形態の水景施設）の水面清掃

- ・ 濠の水面の環境保全、美観や景観保持のため、全域の藻や浮草等の状況を点検し、ボート等の機材を活用して、除去作業は年 3 回（春・夏・秋）を基本に実施します。また、藻や浮草

の繁茂の状況に応じて、適宜、全域あるいはエリア別に同様の作業を行いました。特に6月、7月の藻が発生する手前で駆除することで大量発生を防ぐことができました。

- ・ 濠に面して陸地等から除去が可能な藻や浮草、浮遊ゴミについては日常的に除去作業を行いました。
- ・ 流れ等は、藻や浮草、浮遊ゴミの除去を中心に清掃を行いました。
- ・ 水質浄化装置(テスト)により、本丸日本庭園の水質浄化を行い、大阪市にテスト結果の報告を行いました。

空濠清掃

- ・ 空濠の環境保全、美観や景観保持のため、全面、冬季に年1回、石垣に付着するつる草、雑草や雑木、ゴミ等の除去を行います。また、雑草等の繁茂状況やごみの状況に応じて、適宜、全面あるいはエリア別に同様の作業を行いました。

石垣清掃

- ・ 石垣の環境保全、美観や景観保持のため、石垣の間から発育する雑木や雑草、石垣に付着するつる草、ゴミ等の除去作業を行いました。全体を冬季に実施しました。また、平成30年度は台風復の影響で秋の作業が実施出来ず、代替え作業として外堀外側石垣の石垣清掃を実施しました。
- ・ 石垣清掃実施時には、併せて空濠、濠の水面清掃を実施しました。
- ・ 石垣等の清掃にあたっては、2本のロープで作業員を確保し墜落災害の防止に努めました。
- ・ トライアスロンの開催に伴い、5月下旬、6月上旬に会場の東外濠及び内濠の石垣清掃を行いました。

公園の魅力向上

- ・ 森ノ宮エリアに店舗と共に芝生広場やボタニカルショーケース、せせらぎ植栽帯の整備を行いました。また、ヴィスタラインを確保できるよう高木の切り下げ剪定を実施しました。今後は公園の玄関として、また、おもてなしの空間として相応しい管理を実施していきます。
- ・ JO - TERRACE OSAKA 及び MIRAIZA OSAKA-JO、新たに出来た COOL JAPAN PARK OSAKA などの商業施設については清潔感を第一に、周辺の植栽管理を実施していきます。

課題や今後の取り組みについて

平成30年9月4日の台風21号で全体の約1割が被害を受けました。公園内の樹木に多くの影響が出て、公園の景色も変わりました。森林エリアの密植や自然樹形管理による災害への弱さも分かりました。緑を災害に強く、そして健全に維持するために将来像を定め、それに沿った管理計画が必要となります。大阪市の考えを基に、来園者が安全に楽しめる空間を作れるよう努力していきます。

14. 魅力向上事業について

平成 30 年度は魅力向上事業における施設整備として森ノ宮噴水エリアに飲食施設 2 か所と児童遊戯施設、公園案内所、ボタニカルショーケース及び COOL JAPAN PARK OSAKA を新たに整備し、予定していた施設整備についてはすべて完了いたしました。今後はこれまで整備した施設を活かしながら、大阪城公園の観光拠点化推進を一層進めていく予定です。

【1】 森ノ宮噴水エリア

緑豊かな市民の森をはじめ、スポーツレクリエーションなど様々な余暇活動を楽しむ多くの来園者で賑わうエリアである森ノ宮エリアは交通至便の立地であり、野外音楽堂やピース大阪といった文化・教養施設さらに休日には子供連れの家族で賑わう遊具広場など大阪城公園の都市公園としての機能を集積したエリアとなっています。このエリアの都市公園としての魅力を高めつつ、昨年度に整備したスターボックス、アールベイカーの 2 つの飲食施設と児童遊戯施設のポーネルンドプレイヴィルの各便益施設、森ノ宮エリアから訪れた来園者のための案内所を新たに整備いたしました。あわせて大阪城公園の花の名所を紹介するボタニカルショーケース及び森ノ宮エントランス部において老朽化の為運用を休止していた水景施設も植栽帯として改修整備し、緑あふれる公園としての魅力も向上しました。

【2】 COOL JAPAN PARK OSAKA

3 つのホールを持つ「COOL JAPAN PARK OSAKA」を平成 31 年 2 月 23 日の「柿落とし公演」をもって開業しました。

大ホールは、「WW ホール(ダブルユーダブルユーホール)」という名称で、ミュージカル、コンサート、演劇、ダンスなど様々なジャンルのエンタテインメントの上演が可能です。客席数は 1144 席です。中ホールは、「TT ホール(ティーティーホール)」という名称で、演劇、ミュージカルをはじめ上方伝統芸能など様々なジャンルのエンタテインメントの上演が可能です。客席数は 706 席です。小ホールは、「SS ホール(エスエスホール)」という名称で、ステージと客席が自由に設定できる空間となっており、落語・伝統芸能・演劇や音楽ライブ、展示会など幅広いステージイベントの演出が可能なホールです。客席数は着席で 300 席、スタンディングで 400～500 席です。4K 放送対応も完備、番組などのスタジオ収録や配信も可能となっています。

主な演目は、WW ホールでは、「KEREN」が長期公演。TT ホールでは、「さんま・岡村の花の駐在さん」にはじまり「enargy～笑う筋肉」「DOWN TOWN FOOLLIES」、SS ホールでは「上方伝統芸能フェスティバル」「新喜劇でナゾトキゲキ！」などです。

【3】 各種イベントの実施

大阪城公園の魅力向上のための賑わいづくり事業として各種イベントを行いました。

- ・西の丸庭園：観桜ナイトー2018（4/1～4/15）
集客数：38,528人
- ・西の丸庭園：「黄金の茶室」展示及びフォトサービス事業（4/1～3/31）
利用件数：1,125件
- ・大阪城内堀：大阪城御座船（4/1～3/31）
利用者：223,698人
- ・西の丸庭園：櫓特別公開2018（4/1～3/31） 土日祝のみ/春・夏連日公開
利用者：105,433人
- ・記念樹の森：大阪城「和 べきゅー」（4/1～5/6）
- ・西の丸庭園：大阪城謎解きゲーム 第5弾（4/20～9/17）
参加者：6,206人
- ・豊国神社前：春の風鈴クラフトまつり（4/26～5/1）
- ・天守閣前広場：戊辰戦争150年 大阪城ファミリーフェスティバル2018
（5/3～5/5）
参加者：約3,600人（3日間合計）
- ・太陽の広場：餃子フェス OSAKA2018（5/3～5/7）
集客数：167,000人
- ・本丸広場：天下統一お茶飲み比べイベント（5/4）
- ・西の丸庭園：大阪城 YOGA（6/17）
参加者：175人

・天守閣前広場“大阪城から文明開化が見える”「学芸員とめぐる明治維新と文明開化ツアー」
(6 / 26)

参加者：26人

・天守閣前広場：「豊国踊り」×「河内音頭～幕末龍馬伝～」(3 / 11)

参加者： 約700人

・豊国神社前：秋の風鈴クラフトまつり (9 / 16 ~ 25)

・西の丸庭園：大阪城謎解きゲーム 第5弾 (9 / 21 ~ 3 / 31)

参加者：3,594人

・大阪城公園駅下：大阪城クラフトピアホリデイ 2018 (10 / 5 ~ 8)

集客数：16,725人

・西の丸庭園：WONDER LUST (10 / 27)

参加者：142人

・天守閣前広場：「幕末・維新150年ファイナル西郷隆盛と西南戦争～大阪城の秋まつり
2018～」(11 / 3 ~ 11 / 4)

参加者： 2,200人 (2日間合計)

・大阪城公園駅下：森ちゃんのラーメンフェスタ (11 / 9 ~ 11 / 16 ~ 18)

集客数：63,000人

・西の丸庭園：大阪城イルミネーション (12 / 1 ~ 3 / 3)

集客数：100,563人

・京橋口～山里丸：大阪城ナイトウォーク「SAKUYA RUMINA」(12 / 15 ~ 3 / 31)

集客数：46,129人

・天守閣広場：天守閣迎春イベント「ちょろけんと大神楽～祝福芸で迎えるお正月～」
(1 / 2 ~ 1 / 3)

参加者：約1,600人（2日間合計）

- ・西の丸庭園：SAKURA YOGA（3/21）

参加者：142人

- ・西の丸庭園：観桜ナイトー2019（3/23～3/31）

集客数：16,850人

- ・西の丸庭園：観桜ナイトー露店（4/1～4/8）

- ・城南エリア：桜のグルメ茶屋（4/1～4/8）

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（4/1～5/31）

- ・豊国神社前：春のグルメ茶屋（4/1～5/31）

- ・森ノ宮口：納涼グルメ茶屋（6/1～8/31）

- ・森ノ宮口：森のグルメ茶屋（9/7～11/30）

- ・森ノ宮口：クリスマスのグルメ茶屋（12/1～12/28）

- ・森ノ宮口：寒梅グルメ茶屋（1/5～3/21）

- ・森ノ宮口：植木市のグルメ茶屋（3/22～3/31）

- ・城南エリア：桜のグルメ茶屋（3/23～3/31）

- ・西の丸庭園：観桜ナイトー露店（3/23～3/31）

- ・城南、青屋門、東外濠、大阪城ホール前：露天営業（4/1～）

課題等

イベント誘致に関しては春や秋の気候の良い時期には週末を中心に多くのイベントが開催されておりますが、夏や冬のイベントがまだ不足しており、夏の本丸での豊国踊りや冬の西の丸庭園の大阪城イルミネージュなどを開催しておりますが、その他にも太陽の広場などにイベントを誘致する等、隣接するJO-TERRACE OSAKAの集客向上も行っていきたいと思っております。

また、これまで整備した施設についても認知度の向上が課題であり、今後ネットやメディアを通じたPR強化や季節に応じたキャンペーン施策、ホームページの改善などでの認知度向上を図ってまいりたいと思っております。